





べんざいかみ・べんざいたにいせき

### 弁財上・弁財谷遺跡第5地点

調査地：朝霞市東弁財三丁目地内

期間：令和7年12月3日～12月15日

調査面積：18.70㎡

◆今回の調査では、旧石器時代の石器製作址、ファイヤーピット（屋外炉）1基、溝2条が確認されました。

遺物は、旧石器時代の石器、縄文土器が出土しました

ファイヤーピットは、遺物の出土はありませんでしたが、周辺環境や周囲での発掘調査結果等から縄文時代早期と考えられます。

今回の調査で特筆すべき点は、旧石器時代の石器製作址が確認できたことです。ナイフ形石器や尖頭器といった、いわゆる石器は出土しませんでした。石器製作時に石を打ち欠いた際にはがれ落ちる薄い破片＝剥片（はくへん）やチップ（剥片より小さい破片）が約30点近く出土しました。

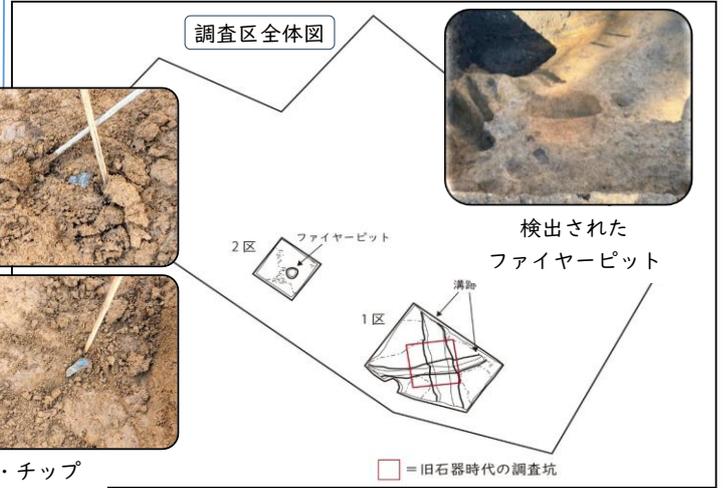
南側の谷を挟んで対岸に位置する泉水山・富士谷遺跡では、これまで旧石器時代の生活の痕跡が確認されていましたが、北側に位置する弁財上・弁財谷遺跡でも旧石器時代の存在が確認できたことから、谷の崖線に沿って旧石器時代には人々の生活が営まれていたことが判明し、新たな情報を得ることができました。



旧石器出土状況と出土した剥片・チップ



弁財上・弁財谷遺跡第5地点 位置図



検出されたファイヤーピット



向原・中笹原遺跡第3地点 位置図



むかいはら・なかさきはらいせき

### 向原・中笹原遺跡第3地点

調査地：朝霞市根岸台七丁目地内

期間：令和7年12月9日～12月22日

調査面積：28.80㎡

◆今回の調査では、旧石器時代の痕跡およびファイヤーピット（屋外炉）3基が確認されました。

遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文土器が出土しました。

ファイヤーピットは、3基が近接した状態で検出し、いずれも底面から壁面にかけて被熱していました。3基とも同時期に使用されたかは不明ですが、うち2基からは縄文時代早期後葉の遺物が出土していることから、近い時期に使用されたものと考えられます。

向原・中笹原遺跡でも旧石器時代の生活の痕跡が確認されたことは大きな発見でした。こちらでも、石器は出土しませんでした。剥片（はくへん）が2点出土しました。

剥片や礫の出土状況などから、調査区外にまで広がっている可能性が考えられ、今後の調査が期待されます。



旧石器時代から市内の色々な場所に人がいたんだね！

©むさしのフロントあさか

旧石器出土状況と出土した剥片



検出されたファイヤーピット